

公益財団法人 日本サッカー協会
2013年度 第9回理事会

報告事項

1. F I F A理事会 (12月4日・5日開催) の件
<p>12月4日・5日にF I F A理事会がブラジルで開催された。主な決定事項は以下の通り。</p> <p><2016/2017 大会・総会開催国></p> <p>▶ 以下の大会の開催国を決定した。</p> <p>F I F A U-17女子ワールドカップ2016： ヨルダン</p> <p>F I F A U-20女子ワールドカップ2016： 南アフリカ</p> <p>F I F A U-17ワールドカップ2017： インド</p> <p>F I F A U-20ワールドカップ2017： 韓国</p> <p>F I F A総会2016： メキシコ</p> <p>F I F A総会2017： マレーシア</p> <p><2014F I F Aワールドカップ 参加国への財政的貢献></p> <p>2014F I F Aワールドカップ参加国への財政的貢献額は、2010F I F Aワールドカップから37%増やし、総額576百万ドルとすることが承認された。明細は以下の通り。</p> <p>賞金： 優勝35百万ドル、準優勝25百万ドル、3位22百万ドル、 4位20百万ドル、ベスト8 14百万ドル、ベスト16 9百万ドル、 グループステージ敗退8百万ドル</p> <p>参加国への準備金： 1.5百万ドル</p> <p>所属クラブへの貢献金： 70百万ドル</p> <p>C P Pに100百万ドル (※CPP=Club Protection Programme： 国際マッチデーで代表選手が怪我した際にその所属クラブに支払われる補償金</p> <p><2014F I F Aワールドカップ レガシートラスト></p> <p>2010F I F Aワールドカップに引き続き、2014F I F Aワールドカップでも遺産を後世に残すことを目的とした「2014F I F Aワールドカップ レガシートラスト」を創設する。</p> <p>2010F I F Aワールドカップでは、サッカーの発展のみでなく、教育や健康管理の支援も行った。</p> <p><2022F I F Aワールドカップ 開催期間></p> <p>開催期間決定に関する以下のロードマップを決定した。</p> <p>2014年1月-4月 ステークホルダー (ビジネスパートナー含む) との会合</p> <p>2014年9月 国際試合カレンダーミーティング (no. 1)</p> <p>2014年11月 国際試合カレンダーミーティング (no. 2)</p> <p>2014年12月 F I F A理事会への提案提出</p> <p><加盟協会関連></p> <p>モロッコ協会関連： 11月15日に緊急委員会が下した決定を承認した。</p> <p>つまり；</p> <p>・11月10日の選挙は認めない。</p>

<p>・2014年前半に再選挙を実施するにあたり、モロッコ協会は規約をFIFA標準規約に合致したものを採用する。</p> <p>・それまでの間は、職を辞した理事会が、モロッコ協会を運営する。</p>										
<p>2. AFC年間アワード 2013 の件</p>										
<p>11月26日マレーシアにてAFC年間アワード2013が開催され、日本関連の受賞者は以下の通り。</p> <table border="0"> <tr> <td>グラスルーツフットボール</td> <td>JFA</td> </tr> <tr> <td>最優秀監督（女性）</td> <td>高倉麻子（U-16日本女子代表監督）</td> </tr> <tr> <td>最優秀アジアインターナショナルプレーヤー</td> <td>長友佑都（インテルミラノ）</td> </tr> <tr> <td>最優秀アシスタントレフェリー</td> <td>名木利幸</td> </tr> <tr> <td>最優秀女子レフェリー</td> <td>山岸佐知子</td> </tr> </table>	グラスルーツフットボール	JFA	最優秀監督（女性）	高倉麻子（U-16日本女子代表監督）	最優秀アジアインターナショナルプレーヤー	長友佑都（インテルミラノ）	最優秀アシスタントレフェリー	名木利幸	最優秀女子レフェリー	山岸佐知子
グラスルーツフットボール	JFA									
最優秀監督（女性）	高倉麻子（U-16日本女子代表監督）									
最優秀アジアインターナショナルプレーヤー	長友佑都（インテルミラノ）									
最優秀アシスタントレフェリー	名木利幸									
最優秀女子レフェリー	山岸佐知子									
<p>3. FIFA/AFC Football Medicine Course -East Region 2014- 受講者の件</p>										
<p>2014年1月13日（月）から17日（金）まで香港で開催されるFIFA/AFC Football Medicine Course ~East Region 2014~ を、JFAより以下の2名が受講する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 船越 雄誠 医師（浜松聖隷病院勤務：フットサル日本代表チームドクター） 2. 松永 怜 医師（鹿島労災病院勤務：U-15日本代表チームドクター） <p>※往復航空券代、現地移動費・宿泊費はAFCが負担。</p>										
<p>4. 日本サッカーミュージアムの件</p>										
<p>(1)入場者報告</p> <p>11月 1,980人 1日平均 76.2人</p> <p>(2012年 2,034人 2011年 2,691人 2010年 1,651人 2009年 1,859人)</p> <p>(2)開館10周年記念</p> <p>12月22日（日）は開館10周年を記念し、有料ゾーンを無料開放とする。</p>										
<p>5. 全日本高等学校女子サッカー選手権大会 主管の件</p>										
<p>第23回全日本高等学校女子サッカー選手権大会から、一般社団法人兵庫県サッカー協会が主管し、神戸市中心とした会場を使用して開催することを決定した。</p> <p>大会名： 全日本高等学校女子サッカー選手権大会</p> <p>主催： 公益財団法人日本サッカー協会</p> <p>主管： 一般社団法人兵庫県サッカー協会</p> <p>会場： 神戸市他</p> <p>開催時期： 2015年1月初旬開催から</p>										
<p>6. JFA地域ガールズ・エイト（U-12）サッカー大会 主催 の件</p>										
<p>「JFA地域ガールズ・エイト（U-12）サッカー大会」を下記の通り変更する。</p> <p>(旧) 大会名： JFA地域ガールズ・エイト（U-12）サッカー大会</p> <p>主催： 地域サッカー協会</p>										

主 管： 開催都道府県サッカー協会
 後 援： 公益財団法人日本サッカー協会

↓

(新) 大会名： キヤノン ガールズ・エイト
 ～JFA地域ガールズ・エイト (U-12) サッカー大会～
 主 催： 公益財団法人日本サッカー協会
 主 管： 地域サッカー協会
 特別協賛： キヤノン株式会社

尚、大会概要は下記の通り。(9月理事会承認事項)

「U-12年代のグラウンドデザイン」による大会改革の一環として、2003年度から行ってきた「JFA地域ガールズ・エイト (U-12) サッカー大会」を2014年度(2015年3月開催)から以下のように改編する。

【改編趣旨】

- － 男女一緒の(環境である)小学6年生から、女子中心となる中学生へのステップとする。
- － U-12グラウンドデザイン(大会カレンダー)の中に明確に位置づけ、女子選手だけが集まれる公認の機会とする。

【改編点】

- － 開催日程
 3月の土日で開催 ※降雪地は別途検討
 本大会開催日に他の第4種大会・試合は行わない。
- － 参加チーム
 FA選抜チーム
 ※大会形式・チーム数・選手数、選抜チームの形態などは、地域・FAの選手数・活動状況等を鑑み、大会実施に向けての会議体(女子・第4種・ナショナルトレセンコーチ女子担当等)にて検討する。本大会の趣旨に沿っているかをJFAが確認し、承認した内容に基づいて予算化、補助金を決定する。
- － 特別協賛 キヤノン株式会社

7. 海外遠征申請の件

- (1) 社団法人 宮城県サッカー協会
 チーム ベガルタ仙台ジュニアユース (第3種)
 遠征期間 2014年3月29日(土)～4月6日(日)
 遠征先 フィレンツェ・ローマ・ボローニャ/イタリア
- (2) 社団法人 宮城県サッカー協会
 チーム 常盤木学園高等学校 (女子)
 遠征期間 2014年1月18日(土)～28日(火)
 遠征先 ①リヨン/フランス②バルセロナ/スペイン
- (3) 特定非営利活動法人 山形県サッカー協会

- チー ム モンテディオ山形ジュニアユース (第3種)
 遠征期間 12月12日(木)～16日(月)
 遠 征 先 バンコク・チョンブリー/タイ
- (4) 一般社団法人 群馬県サッカー協会
 チー ム 東洋大学体育会サッカー部女子部 (女子)
 遠征期間 2014年2月18日(火)～20日(木)
 遠 征 先 ソウル/韓国
- (5) 公益財団法人 埼玉県サッカー協会
 チー ム 大宮アルディージャ (第1種)
 遠征期間 2014年1月22日(水)～29日(水)
 遠 征 先 グアム/アメリカ
- (6) 公益社団法人 千葉県サッカー協会
 チー ム 柏レイソル U-15 (第3種)
 遠征期間 2014年1月11日(土)～23日(木)
 遠 征 先 ドーハ/カタール
- (7) 公益社団法人 千葉県サッカー協会
 チー ム 柏レイソル U-18 (第2種)
 遠征期間 12月30日(月)～2014年1月25日(土)
 遠 征 先 サンパウロ/ブラジル
- (8) 公益財団法人 東京都サッカー協会
 チー ム FC東京 (第1種)
 遠征期間 2014年1月29日(水)～2月4日(火)
 遠 征 先 香港/香港
- (9) 公益財団法人 東京都サッカー協会
 チー ム FCトリプレッタ Jrユース (第3種)
 遠征期間 2014年3月24日(月)～4月2日(水)
 遠 征 先 バロセロナ/スペイン
- (10) 一般財団法人 静岡県サッカー協会
 チー ム 静岡産業大学磐田ボニータ (女子)
 遠征期間 2014年3月19日(水)～24日(月)
 遠 征 先 ロサンジェルス/アメリカ
- (11) 一般財団法人 岐阜県サッカー協会
 チー ム 帝京大学可児高校サッカー部 (第2種)
 遠征期間 12月25日(水)～30日(月)
 遠 征 先 浦項/韓国
- (12) 一般社団法人 熊本県サッカー協会
 チー ム 熊本県立大津高等学校 (第2種)
 遠征期間 12月25日(水)～29日(日)
 遠 征 先 浦項/韓国

<p>8. 標章使用申請の件</p> <p>申請団体： 社団法人宮城県サッカー協会 使用目的： 名刺 12名分（各 50枚）</p>
<p>9. J F A ロングパイル人工芝ピッチ公認（新規）の件</p> <p>（新規）</p> <p>1. 公認申請者：岩手県花巻市 施設名：スポーツキャンプむらメインコート 施設所有者：花巻市長 大石 満雄（おおいし みつお） ロングパイル人工芝：ハイブリッドターフ（XXP-62） / 住友ゴム工業㈱ 公認期間：2013年12月19日～2016年12月18日 公認番号：第152号 <特記事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ハイブリッドターフ（XXP-62） / 住友ゴム工業㈱は製品検査（ラボテスト）を完了し、J F A ロングパイル人工芝基準を満たしている。 ◆公認規程に基づき2回の検査（フィールドテスト）を実施し、J F A ロングパイル人工芝基準を満たしている。 <p>2. 公認申請者：北海道旭川市 施設名：東光スポーツ公園メイン球技場 施設所有者：旭川市長 西川 将人（にしかわ まさひと） ロングパイル人工芝：ドリームターフ（MV2040 ACS65） / 積水樹脂㈱ 公認期間：2013年12月19日～2016年12月18日 公認番号：第153号 <特記事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ドリームターフ（MV2040 ACS65） / 積水樹脂㈱は製品検査（ラボテスト）を完了し、J F A ロングパイル人工芝基準を満たしている。 ◆公認規程に基づき2回の検査（フィールドテスト）を実施し、J F A ロングパイル人工芝基準を満たしている。 <p>3. 公認申請者：北海道旭川市 施設名：東光スポーツ公園サブ球技場 施設所有者：旭川市長 西川 将人（にしかわ まさひと） ロングパイル人工芝：ドリームターフ（MV2040 ACS65） / 積水樹脂㈱ 公認期間：2013年12月19日～2016年12月18日 公認番号：第154号 <特記事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ドリームターフ（MV2040 ACS65） / 積水樹脂㈱は製品検査（ラボテスト）を完了し、J F A ロングパイル人工芝基準を満たしている。 ◆公認規程に基づき2回の検査（フィールドテスト）を実施し、J F A ロングパイル人工芝基準を満たしている。

10. 役員・審判員海外派遣の件

大会役員・審判員の国際試合等への派遣は次のとおり。

(役員)

①FIFA Referees Committee

委員：上川 徹

期間：11月12日～16日

場所：チューリッヒ／スイス

②AFC Asian Cup Australia 2015 Group C

アセッサー：岡田正義

期間：11月17日～20日

場所：西安／中国

③AFC Asian Cup Australia 2015 Group E

アセッサー：石山昇

期間：11月17日～20日

場所：香港

④AFC Referees Committee

委員：上川徹

期間：11月22日～24日

場所：クアラルンプール／マレーシア

(審判員)

①タイ FA Cup Final

審判員：山本雄大、相楽亨、名木利幸

期間：11月9日～11日

場所：バンコク／タイ

②AFC Asian Cup Australia 2015 Group A

審判員：東城 穰、大塚晴弘、唐紙学志

期間：11月12日～17日

場所：テヘラン／イラン

③AFC Asian Cup Australia 2015 Group C

審判員：當麻政明、八木あかね、西尾英朗

期間：11月12日～17日

場所：リヤド／サウジアラビア

④AFC Asian Cup Australia 2015 Group D

審判員：西村雄一、相楽亨、名木利幸

期間：11月16日～21日

場所：マナマ／バーレーン

⑤AFC Asian Cup Australia 2015 Group E

審判員：佐藤隆治、越智新次

期間：11月16日～21日

<p>場 所：アブダビ/UAE</p> <p>⑥国際親善試合（オーストラリア vs. コスタリア）</p> <p>審判員：高山啓義</p> <p>期 間：11月17日～21日</p> <p>場 所：シドニー/オーストラリア</p> <p>⑦女子国際親善試合（オーストラリア vs. 中国）</p> <p>審判員：佐藤奈美、梶山美紗子</p> <p>期 間：11月22日～29日</p> <p>場 所：シドニー/オーストラリア</p> <p>⑧審判交流プログラム（イングランド）</p> <p>審判員：岡部拓人、福島孝一郎</p> <p>期 間：11月21日～12月6日</p> <p>場 所：ロンドン/イングランド</p>
<p>11. インテグリティ協議会・プロジェクト メンバー選定の件</p>
<p>(報告) 資料No.1</p> <p>第6回理事会にて設立が承認されたインテグリティ協議会・プロジェクトのメンバーについて、添付の通り選定したので報告する。</p>
<p>12. スーパー少女プロジェクト トレーニングキャンプ の件</p>
<p>行事名： スーパー少女プロジェクト トレーニングキャンプ</p> <p>期 間： 11月15日（金）～17日（日）</p> <p>場 所： 大和高原ボスコヴィラ（奈良県奈良市）</p> <p>[スケジュール]</p> <p>11月15日（金） 集合 → フィジカル測定・トレーニング・ミーティング</p> <p>16日（土） トレーニング・ミーティング</p> <p>17日（日） トレーニング・ミーティング → 解散</p> <p>[スタッフ]</p> <p>GKコーチ： 西入 俊浩（JFA ナショナルトレセンコーチ/JFA アカデミー堺）</p> <p>GKコーチ： 川島 透（JFA ナショナルコーチングスタッフ）</p> <p>GKコーチ： 轟 奈都子（JFA ナショナルトレセンコーチ/セレッソ大阪）</p> <p>GKコーチ： 石原 千晶（カシオ計算機株式会社 関西リストroman営業所）</p> <p>ドクター： 増田 研一（関西医療大学 大学院）</p> <p>総務： 今関 葉子（JFA 女子部）</p> <p>[選手（GK）]</p> <p>西村 清花（兵庫県：FC VICTORIES）</p> <p>西中 麻穂（滋賀県：おおつヴィクトリースサッカークラブ）</p> <p>福田 まい（愛知県：NGU 名古屋 FC レディース）</p> <p>山田 陽菜（愛知県：CEREJA FC）</p> <p>芝 ひより（大阪府：セレッソ大阪堺ガールズ）</p>

<p>藤田 七海 (兵庫県：神戸フットボールクラブレディース) 川端 涼朱 (東京都：INAC 多摩川レオネッサ U-18) 鈴木あぐり (山形県：山形 FC ジュニアユース) 米澤 萌香 (東京都：日テレ・メニーナ・セリアス) 湯浅里香子 (広島県：青崎サッカークラブ Hanako Clover's) 飛嶋菜々子 (埼玉県：大宮 FC エンジェルス 09) 宝田 沙織 (大阪府：セレッソ大阪堺レディース/JFA アカデミー堺) 和田 涼花 (新潟県：アルビレックス新潟レディース U-15) 栗屋 莉菜 (山口県：萩サッカークラブレディース) 横田 小姫 (埼玉県：大宮 FC エンジェルス) 本間 珠幸 (埼玉県：浦和レッドダイヤモンズレディースジュニアユース) 井上 沙季 (愛知県：FC ホッパ/JFA アカデミー堺) 山下 莉奈 (大阪府：セレッソ大阪堺ガールズ) 計 18 名</p>
<p>13. Aspire/Iker Casillas Foundation GK Elite Training Summit 参加者の件</p>
<p>12月26日(木)から29日(日)までカタールで開催される Aspire/Iker Casillas Foundation GK Elite Training Summit 2013 に、JFAより選手2名が受講し、指導者2名が帯同する。</p> <p>[選手]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小島 亨介 (名古屋グランパス U-18) 2. 阿部 航斗 (アルビレックス新潟ユース) <p>[指導者]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 佐々木 理 (U-15 日本代表チーム GK コーチ) 2. 浜野 征哉 (U-18 日本代表チーム GK コーチ) <p>※往復航空券代、現地移動費・宿泊費は Aspire Academy が負担。</p>
<p>14. ナショナルトレセン U-14 (後期) 地域対抗戦 活動の件</p>
<p>(報告) 資料No.2①②③</p> <p>行事名：ナショナルトレセン U-14 地域対抗戦 期 間：11月21日(木)～24日(日) 場 所：J-GREEN 堺 (大阪府・堺市)</p> <p>[スケジュール]</p> <p>11月21日(木) 集合・試合・トレーニング 11月22日(金) 試合・トレーニング 11月23日(土) 試合・トレーニング 11月24日(日) 試合・解散</p> <p>[ナショナルトレセンコーチ・地域スタッフ・選手]</p> <p>※別紙参照</p> <p>[試合結果]</p> <p>※別紙参照</p>

15. ナショナルGKキャンプの件

行事名：ナショナル GK キャンプ

期 間：12月4日(水)～6日(金)

場 所：静岡/御殿場高原時之栖

[スケジュール]

12月4日(水) PM トレーニング (御殿場高原時之栖)

12月5日(木) AM トレーニング (御殿場高原時之栖)

PM トレーニング (時之栖スポーツセンター)

12月6日(金) AM トレーニング (御殿場高原時之栖)

[スタッフ]

川俣 則幸 JFA ナショナルトレセンコーチ

浜野 征哉 JFA ナショナルトレセンコーチ/ナショナルコーチングスタッフ

前田 信弘 JFA ナショナルトレセンコーチ

[選手]

吉田 裕也 ヨシダ ユヤ (高崎市立高崎経済大学附属高等学校)

上村 侑大 ウエムラ ユウダイ (大津高等学校)

川島 大輝 カシマ ダイキ (アビスパ福岡 U-18)

種村 優志 タネムラ ユウジ (コンサドーレ札幌 U-18)

加藤 有輝 カトウ ユキ (大宮アルディージャユース)

下野 和哉 シモノ カズヤ (鹿児島城西高等学校)

田中 雄大 タナカ ユウダイ (青森山田高等学校)

摂津 颯登 セツ ハヤト (モンテディオ山形ユース)

高丘 陽平 タカカ ヒロヘイ (横浜 FC ユース)

永石 拓海 ナガishi タクミ (高川学園高等学校)

16. 2014年U-13地域リーグ基本条件の件

2014年度U-13地域リーグにおける、試合人数とフィールドの大きさの関係について、次の通り推奨していく。

試合人数 フィールドの大きさ (縦×横)

8人制 : 68m×50m

9人制 : 83m×54m

11人制 : 90m×60m

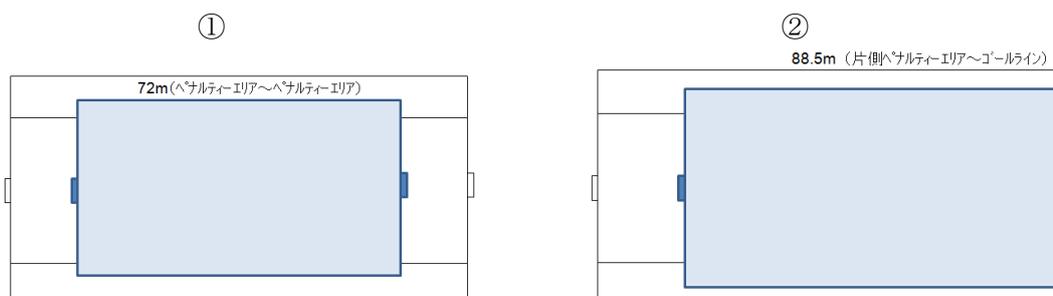
既存の正規フィールドラインを活用した場合、次の通り推奨する。

試合人数 フィールドの大きさ (縦×横)

8人制 : 72m×50m ※①

9人制 : 72m×60m ※①

11人制 : 88.5m×62m ※②



※試合人数、フィールドの大きさは選手のレベルに応じて、各地域が、協議の上決定する。

<趣旨>

U-13年代の選手の身体的特徴として、成長の個人差が非常に大きいことがあげられる。体格や身体能力が強調されたプレーではなく、選手たちが、サッカーをより楽しむことができ、また、将来より良い選手になるための準備をするために、選手の年代に適した試合人数、フィールドの大きさを提供する

<都道府県での試合について>

2011年度からM8支援制度「リーグ戦の推進と競技会の整備・充実」において、U-13リーグの実施を促しており、試合人数においては8人制を推奨している（フィールドの大きさにおいては、各都道府県サッカー協会に委ねている）。

17. 日本代表 海外遠征 11月の件

行事名：日本代表 海外遠征 11月

期 間：11月10日（日）～21日（木）

場 所：ベルギー/ゲンク・ブリュッセル

[スケジュール]

11月10日	(日)	集合
11月11日	(月)	移動
11月12日	(火)	トレーニング
11月13日	(水)	トレーニング
11月14日	(木)	トレーニング
11月15日	(金)	公式練習
11月16日	(土)	国際親善試合 2013 日本代表 vs. オランダ代表 △2-2 (1-2)
11月17日	(日)	トレーニング、移動
11月18日	(月)	公式練習
11月19日	(火)	国際親善試合 2013 ベルギー代表 vs. 日本代表 ○2-3 (1-1)
11月20日	(水)	移動
11月21日	(木)	帰国後解散

[スタッフ]

団長	田嶋 幸三	(JFA 副会長)
技術委員長	原 博実	(JFA 技術委員長)
テクニカルコーディネーター	霜田 正浩	(JFA 技術委員)
監督	アルベルト・ザッケローニ	(JFA ナショナルコーチングスタッフ)
コーチ	ステファノ・アグレスティ	(JFA ナショナルコーチングスタッフ)
アシスタントコーチ	和田 一郎	(JFA ナショナルコーチングスタッフ)
GK コーチ	マウリツィオ・グアイド	(JFA ナショナルコーチングスタッフ)
フィジカルコーチ	エウジニオ・アルバレラ	(JFA ナショナルコーチングスタッフ)
コンディショニングコーチ	早川 直樹	(JFA ナショナルコーチングスタッフ)
テクニカルアシスタント	ジャンパオロ・コラウッティ	(JFA ナショナルコーチングスタッフ)
ドクター	池田 浩	(JFA スポーツ医学委員会 /順天堂大学医学部附属順天堂医院)
アスレティックトレーナー	前田 弘	(JFA)
アスレティックトレーナー	池内 誠	(JFA)
アスレティックトレーナー	菊島 良介	(JFA)
通訳	矢野 大輔	(JFA)
チーム運営統括	平井 徹	(JFA 代表チーム部)
総務	津村 尚樹	(JFA 代表チーム部)
メディアオフィサー	加藤 秀樹	(JFA コミュニケーション部)
チームカメラマン	松田 利幸	(JFA コミュニケーション部)
宿泊・輸送	原川 剛	(西鉄旅行(株))
キットマネージャー	峯尾 雅樹	(アディダス ジャパン)
キットスタッフ	麻生 英雄	(アディダス ジャパン/BOTTOM UP)
シェフ	西 芳照	(Dream24)

[選手]

GK	川島 永嗣	(スタンダール・リージュ(ベルギー))
	西川 周作	(サンフレッチェ広島)
	権田 修一	(FC 東京)
DF	今野 泰幸	(ガンバ大阪)
	伊野波 雅彦	(ジュビロ磐田)
	長友 佑都	(インテル・ミラノ(イタリア))
	森重 真人	(FC 東京)
	内田 篤人	(FC シャルケ 04)
	吉田 麻也	(サウサンプトン(イングランド))
	酒井 宏樹	(ハノーファー96(ドイツ))
	酒井 高徳	(VfB シュツットガルト(ドイツ))
MF	遠藤 保仁	(ガンバ大阪)
	長谷部 誠	(1. FC ニュルンベルク(ドイツ))

FW	細貝 萌	(ヘルタ・ベルリン(ドイツ))	
	本田 圭佑	(CSKA モスクワ (ロシア))	
	高橋 秀人	(FC 東京)	
	山口 螢	(セレッソ大阪)	
	岡崎 慎司	(1. FSV マインツ 05(ドイツ))	
	香川 真司	(マンチェスター・ユナイテッド(イングランド))	
	清武 弘嗣	(1. FC ニュルンベルク(ドイツ))	
	柿谷 曜一朗	(セレッソ大阪)	
	齋藤 学	(横浜 F・マリノス)	
	大迫 勇也	(鹿島アントラーズ)	
以上 23 名			
18. アジア貢献事業 U-20 日本代表 ミャンマー遠征の件			
行事名：アジア貢献事業 U-20 日本代表 ミャンマー遠征			
期 間：11 月 18 日 (月) ～21 日 (木)			
場 所：ミャンマー・ヤンゴン			
[スケジュール]			
11 月 18 日	(月)	集合、移動	
11 月 19 日	(火)	トレーニング	
11 月 20 日	(水)	国際親善試合 vs. U-23 ミャンマー代表	○3-1 (1-0)
11 月 21 日	(木)	移動、解散	
[スタッフ]			
監 督	霜田 正浩	(JFA 技術委員)	
コーチ	浜野 征哉	(JFA ナショナルコーチングスタッフ)	
ドクター	加藤 晴康	(JFA スポーツ医学委員会/立教大学)	
アスレティックトレーナー	藤本 栄雄	(エスティームスポーツマッサージ)	
テクニカルスタッフ	湯浅 理平	(JFA)	
総 務	本間 一憲	(JFA 代表チーム部)	
[選 手]			
GK	杉本 大地	(京都サンガ F.C.)	
	川田 修平	(大宮アルディージャ)	
DF	亀川 諒史	(湘南ベルマーレ)	
	西野 貴治	(ガンバ大阪)	
	三島 勇太	(アビスパ福岡)	
	小暮 大器	(セレッソ大阪)	
	植田 直通	(鹿島アントラーズ)	
	ハーフナー・ニッキ	(名古屋グランパス)	
MF	田鍋 陵太	(名古屋グランパス)	※2
	幸野 志有人	(V・ファーレン長崎)	
	白崎 凌兵	(カターレ富山)	※1

	矢島 慎也	(浦和レッドダイヤモンズ)
	金森 健志	(アビスパ福岡)
	野澤 英之	(FC 東京)
	喜田 拓也	(横浜 F・マリノス)
	望月 嶺臣	(名古屋グランパス)
FW	南 秀仁	(FC 町田ゼルビア)
	渡 大生	(ギラヴァンツ北九州)
※1 参加辞退 ※2 追加招集		以上 18 名
19. U-16 日本女子代表候補 トレーニングキャンプの件		
行事名 : U-16 日本女子代表候補 トレーニングキャンプ		
期 間 : 12 月 6 日 (金) ~ 8 日 (日)		
場 所 : 鹿児島県薩摩郡		
[スケジュール]		
	12 月 6 日 (金)	集合、トレーニング
	12 月 7 日 (土)	トレーニング
	12 月 8 日 (日)	トレーニング、解散
[スタッフ]		
監 督	高倉 麻子	(JFA ナショナルコーチングスタッフ)
コーチ	大部 由美	(JFA ナショナルコーチングスタッフ)
GK コーチ	川島 透	(JFA ナショナルコーチングスタッフ)
ドクター	鈴木 朱美	(山形大学医学部附属病院)
トレーナー	三井 弘子	(矢島整形外科)
テクニカルスタッフ	寺口 謙介	(筑波大学大学院)
総 務	大富部 佳奈子	(JFA 代表チーム部)
[選 手]		
GK	浅野 菜摘	(JFA アカデミー福島)
	松本 真未子	(浦和レッズレディースユース)
	スタンボー 華	(JFA アカデミー福島)
DF	小林 菜々子	(常盤木学園高等学校)
	池田 玲奈	(アルビレックス新潟レディース U-18)
	松原 志歩	(セレッソ大阪堺レディース)
	市瀬 菜々	(常盤木学園高等学校)
	橋沼 真帆	(JFA アカデミー福島)
	遠藤 優	(浦和レッズレディースユース)
	宮川 麻都	(日テレ・メニーナ)
MF	杉田 妃和	(藤枝順心高等学校)
	立花 葉	(JFA アカデミー福島)
	三浦 成美	(日テレ・メニーナ)
	西田 明華	(セレッソ大阪堺レディース)
	林 穂之香	(セレッソ大阪堺レディース)

FW	平塚 万貴	(西南フットボールクラブ U-15)
	長野 風花	(浦和レッズレディースユース)
	山下 史華	(藤枝順心高等学校)
	北川 ひかる	(JFA アカデミー福島)
	小林 里歌子	(常盤木学園高等学校)
		(ジェフユナイテッド市原・千葉レディース U18)
	鴨川 実歩	(常葉学園橘高等学校)
	植松 里美	(アンジュヴィオレ広島)
	斉原 みず稀	(藤枝順心高等学校)
	児野 楓香	(JFA アカデミー福島)
大熊 良奈		
以上 25 名		
20. フットサル日本代表 ベトナム遠征の件		
行事名：フットサル日本代表 ベトナム遠征 International Futsal Tournament 2013		
期 間：11 月 17 日(日)～22 日(金)		
場 所：ベトナム/ホーチミン		
[スケジュール]		
11 月 17 日(日) PM 集合		
11 月 18 日(月) AM 移動、PM 現地着		
11 月 19 日(火) 16:30 タイ代表戦 ○3-0(0-0)		
11 月 20 日(水) 18:00 ベトナム代表戦 ○2-1(2-1)		
11 月 21 日(木) 15:30 ブラジル代表戦 ●1-2(0-1)		
11 月 22 日(金) AM 移動、帰国、解散		
[スタッフ]		
監 督	ミゲル・ロドリゴ	(JFA)
フィジカルコーチ	村岡 誠	(フリー)
コーチ兼通訳	小森 隆弘	(JFA/東急スポーツシステム)
ドクター	土井 俊	(すずかけセントラル病院)
アスレティックトレーナー	大岡 茂	(R-body project)
総 務	倉田 研太郎	(JFA 代表チーム部)
[選 手]		
GK	藤原 潤	(バルドラール浦安)
	清家 大葵	(シュライカー大阪)
	関口 優志	(エスポラーダ北海道)
FP	稲葉 洸太郎	(バルドラール浦安)
	小曾戸 允哉	(バサジィ大分)
	畠山 ブルノタカシ	(クウェート SC/クウェート)
	西谷 良介	(デウソン神戸)
	滝田 学	(ペスカドーラ町田)

皆本 晃	(府中アスレティック FC)
仁部屋 和弘	(バサジィ大分)
永井 義文	(シュライカー大阪)
白方 秀和	(名古屋オーシャンズ)
吉川 智貴	(名古屋オーシャンズ)
北嶋 佑一	(バサジィ大分)
室田 祐希	(名古屋オーシャンズ)

以上 15名